

埼玉県ユニセフ協会が募金活動に対し感謝状を授与 4月12日(日)「ユニセフのつどい in SAITAMA」に参加

コープみらい(本部:埼玉県さいたま市、理事長:田井 修司、事業エリア:千葉県・埼玉県・東京都)は、4月12日(日)に開催される「ユニセフのつどい in SAITAMA」(主催:埼玉県ユニセフ協会、会場:コーププラザ浦和)において、埼玉県ユニセフ協会(住所:埼玉県さいたま市、会長:山口 宏樹<国立大学法人埼玉大学学長>)から2014年度に埼玉県エリアで組合員が取り組んできた募金活動に対する感謝状を授与されます。

「ユニセフのつどい・感謝状授与式」は、ユニセフへの支援に協力した埼玉県内の学校・団体・企業が一堂に会し、活動報告や交流を通じて今後の支援活動に生かすことを目的に毎年開催されています。

昨年度コープみらいでは、ユニセフ募金への呼びかけを店舗、宅配サービス「コープデリ」、コーププラザ(組合員施設)で行ったほか、組合員とともに「ユニセフ・ラブウォーク」※1や街頭募金、『ハッピーミルクプロジェクト・シエラレオネ』※2、シエラレオネ共和国における総合的なエボラ出血熱対策のための『エボラ出血熱対策緊急支援募金』に取り組み、多くの方々にご協力をいただきました。

コープみらい埼玉県エリアからは、上記の活動を通じてご協力いただいた募金のうち、ユニセフ一般募金10,820,603円、エボラ出血熱対策緊急支援募金3,265,903円を、埼玉県ユニセフ協会に寄付いたしました。一般募金は、日本ユニセフ協会を通じて、世界150以上の国と地域で子どもたちの予防接種の普及、栄養改善、安全な水や衛生的な環境の確保、教育などの事業、エボラ出血熱対策緊急支援募金は、アフリカ・シエラレオネ共和国でのエボラ出血熱対策に活用されています。



昨年のユニセフのつどいの様子

「ユニセフのつどい in SAITAMA」の概要につきましては、次頁をご参照ください。

- ※1 “健康づくりのウォーキング”と“募金運動”とを結びつけた取り組みで、ウォーキングイベントの参加費をユニセフ一般募金としてお預かりしています。
- ※2 コープマークの牛乳1本のお買い上げにつき1円をユニセフ指定募金に寄付し、アフリカ・シエラレオネ共和国の子どもたちに対する栄養プログラムを支援する取り組みです。

《生活協同組合コープみらい 概要》

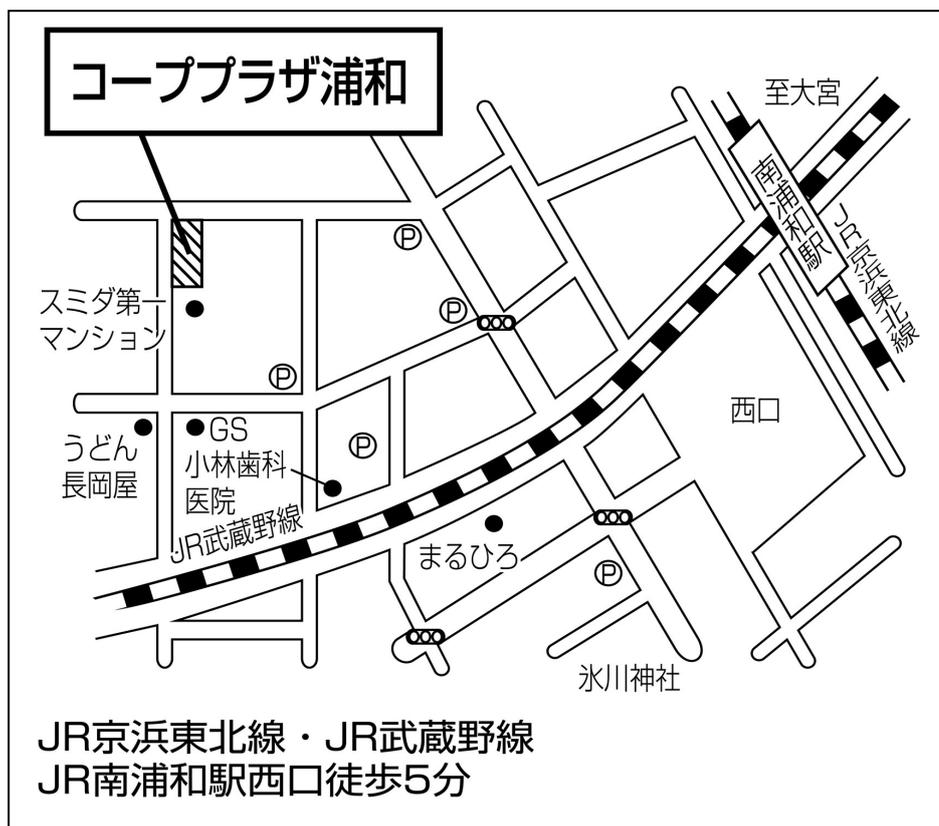
ちばコープ、さいたまコープ、コープとうきょうは組織合同(合併)し、「コープみらい」になりました

- 【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5
- 【理 事 長】田井 修司(たい しゅうじ)
- 【組合員数】315万人(2015年3月20日現在)
- 【総事業高】3,629億円(2013年度)
- 【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都
- 【ホームページ】<http://mirai.coopnet.or.jp/>

— 埼玉県ユニセフ協会主催「ユニセフのつどい in SAITAMA」概要 —

開催日時：2015年4月12日（日）10:30～12:30（予定）

会場：コープみらい コーププラザ浦和 3F（埼玉県さいたま市南区南本町 2-10-10）



※駐車場はございません

プログラム：

- ・開会挨拶
- ・募金贈呈式
- ・感謝状授与式
- ・ユニセフの支援報告
- ・現地視察報告（アフリカ・シエラレオネ共和国）
- ・交流会（閉会后）

※プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

参加団体：19団体（学校・民間団体・企業など）